



結ぶ

徳島東部 12市町村

Vol. 10



歴史のヒント
江戸中期から続く旧家で
春を待つおひな様 [勝浦町]

定住自立圏取組情報・共生ビジョン連携事業紹介

市町村特集
「森に親しみ・森を育て・森に学ぶ」 [上勝町]

「行列のできる魅惑のマルシェ」 [北島町]

ブランドのチカラ
Herb & Aroma
FUL*FUL [藍住町]
あせび温泉
やすらぎの郷 [板野町]
技の館 [上板町]

人を結ぶ
合田 宗秀さん [松茂町]

クイズで商品ゲット

徳島東部 12市町村 結ぶ Vol. 10

2016年12月発行 発行 編集・印刷 徳島東部地域定住自立圏推進協議会事務局 〒770-8571 徳島市幸町2-5 徳島市企画政策課内 ☎088-621-5085

人を結ぶ

阿波人形浄瑠璃ふれあい座 人形使い・太夫(松茂町)
合田 宗秀さん



▲合田さん

阿波人形浄瑠璃を今日につなぐ

平成5年、松茂町歴史民俗資料館・人形浄瑠璃芝居資料館の開館を契機にスタートした「阿波人形浄瑠璃ふれあい座」。婦人会を中心に創られた座に待望の男性が加わったのは今から7年前。そのうちの一人、合田さんが参加したのは、太夫の世界に憧れたのがきっかけとか。

Q松茂町で生まれ育ったのですか？
もともと転勤の多い仕事でした。定年を迎えるにあたり、どこに住むか考えたところ、自然豊かなところがいいなと思って松茂町に定住を決めました。

Q人形浄瑠璃をはじめたきっかけは憧れとか？
お誘いもあったのですが、私の周りにない世界、太夫のかっこ良さに憧れがあって、太夫をやりたいという、語り教室があるよと聞いたのが始まりでした。
徳島では普通に人形浄瑠璃は知られているけど、知られていないというか、職場にもちゃんと見たことのある人は誰もいない、十郎兵衛屋敷に行くのは観光客ばかり。



やはり地元人間が継承しないとイケない。だから人形浄瑠璃に取り組んでみたい、趣味として人形使いと太夫を楽しみたいと思ったのです。

Q始めて見ていかがですか？
芸事は何でもそうでしょうけれども奥が深い。師匠の教えを忠実に語ろうとするのですが、例えばセリフをとっても状況、背景、心情、性格、そういった解釈ですごく優しかったり荒々しくなったりする。何度やっても、幕が下りたときには「先生すいません」と心で頭を下げます。

Q目標は？
人形使いとしては、所作が人と同じく自然になるように練習を重ねています。限りなく人間に近づきたいですね。
継承ということでは、少しずつ座員も人形も増やしていければと思います。
ここにいる座員は、誘われて見に来たのがきっかけという人も多いのですが、自分からやってみたくて来られた方もいます。そうして始められた方で、途中でやめられた方は一人もいません。人形浄瑠璃は体力のある限り続く面白さを持つでしょうね。

Q公演を見るには？
ふれあい座の公演は、同館や阿波十郎兵衛屋敷でも定期的に見ることができます。興味のある方はぜひ見て参加して欲しいと語る。



次号予告
平成29年7月発行予定

冊子の設置場所
12市町村役場／徳島市立図書館／小松島みなと交流センターkocolo／道の駅「ひなの里かつら」／いっきゅう茶屋／佐那の里／JR石井駅／神山温泉／松茂町歴史民俗資料館／北島町立図書館 創世ホール／藍住町立図書館／あせび温泉／技の館 ほか

「徳島東部地域定住自立圏」とは？「結ぶ」って？
徳島市を中心市として近隣の11市町村と連携して「徳島東部地域定住自立圏」を形成し、お互いに役割分担しながら連携・協力することで圏域全体の発展に向けたさまざまな取り組みを展開しています。本誌は徳島東部12市町村の住民の皆さんが「徳島東部地域」の魅力を知り、取り組みに参加することにより、市町村の枠組みを超えて、お互いが交流し結びつきを深める「＝結ぶ」ことを目的として発行しています。

【参加市町村】
徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村・石井町・神山町・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町



▲ 7回目を迎えたとくしま食材フェア



▲ 旬の食材を使ったグルメに舌鼓



▲ 徳島東部の35のブースが軒を並べる

徳島東部12市町村の農林水産物の紹介・試食・販売の推進を目的に、「とくしま食材フェア」が開催されます。このイベント、かつては「徳島市農林水産展」として昭和55年に始まったものですが、平成22年に近隣11市町村が加わり、現在の「とくしま食材フェア」にリニューアルしてはや7回目。今回も農林水産物や特産物の紹介、地元の食材を使ったメニューを販売する「とくしまIPPIN店」など、徳島東部12市町村の秋の味覚が勢揃いしました。

徳島東部の旬の食材が勢揃い 「とくしま食材フェア2016」 連携市町村：徳島東部12市町村

毎年11月、地元産農林水産物の良さと魅力のPR、地産地消の推進を目的に、「とくしま食材フェア」が開催されます。このイベント、かつては「徳島市農林水産展」として昭和55年に始まったものですが、平成22年に近隣11市町村が加わり、現在の「とくしま食材フェア」にリニューアルしてはや7回目。今回も農林水産物や特産物の紹介、地元の食材を使ったメニューを販売する「とくしまIPPIN店」など、徳島東部12市町村の秋の味覚が勢揃いしました。

安全・安心な食材と
地元農林水産物の生産者と消費者の出会いの場
「とくしま食材フェア」に出店しているのは、徳島市をはじめ徳島東部12市町村の生産者等。今回は35のブースが並び、試食や無料配布も行われました。

この催しの楽しみは、地元の安全・安心な食材が手に入るのと、生産者と直接交流できること。そしてとくしま地産地消推進協議会が認定した「とくしまIPPIN店」など、地元食材をたっぷり使った美味しいメニューに出会えること。会場全体に自然に恵まれた地域ならではの旬の味覚が並びます。

ファミリーで楽しめるイベントも盛りだくさん
ファミリーや県外からの来場者も楽しめるよう、フェア開催中の2日間は、たくさんイベントが行われます。特設ステージでは、オープニングのもち投げ、阿波おどりをはじめ、歌、紙芝居、フラダンス、ぞめき三味線など、地元で活躍する団体などの公演が行われたほか、会場内では、ゆるキャラのグリーティングが小さなお子さんに大人気。トクシイやかわに〜ズ、ふじっこちゃんたちと一緒に記念写真を撮影しています。

フェアで出会った地元グルメに舌鼓を打ちながら
ステージも賑やかに
阿波おどりに夢中だ

とくしま食材フェア

主催：とくしま地産地消推進協議会
共催：徳島県食肉事業協同組合連合会
場所：徳島市藍場浜公園
開催日：毎年11月 第3土・日曜日
※平成28年の開催は終了しました。
お問合せ：徳島市経済部農林水産課
☎ 088-621-5246



▲ グリーティング (ふじっこちゃん)



▲ グリーティング (かわに〜ズ)



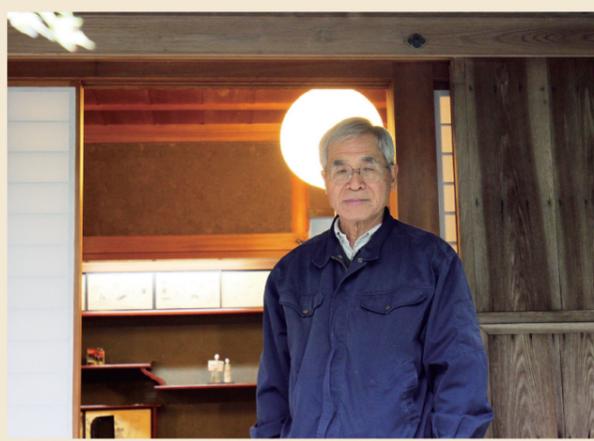
▲ グリーティング (トクシイ)

ステージを楽しめる「とくしま食材フェア」。来年も見逃せませんね。



江戸中期から続く旧家で

春を待つおひな様



森本 友章(もりもと ともあき)様
徳島県ふるさと水と土指導員
ふれあいの里さかもと(農村体験型宿泊施設)運営委員

国の登録有形文化財原簿に登録
平成27年3月26日に、勝浦町で初めて森本家住宅主屋他5棟の建築物が国の登録有形文化財に登録されました。

森本家は、元禄時代が初代という由緒を持ち、古蔵が建築された文化6年は、今から210年も昔のことですが、これらの建築物は今も住居などとして使われています。

登録された建造物は、江戸末期に建築された主屋をはじめ、離れ、納屋、古蔵、新蔵、表門の6つで、中でも離れは「造形の規範となっているもの」と評価されている登録です。

今回お話を伺った場所は、その「離れ」。建築当時に村長であったご当主が村民の相談事をこの離れで聞いていたのでは、と成り立ちをお伺いしました。

ケヤキやツガ、屋久杉などが使われた室内は、森閑としながらも温かみを感じられる二間続き。阿波蜂須賀家14代当主蜂須賀茂留の書が飾られ、床脇、欄間、鶯戸などに当時の建築の技巧がふんだんに用いられています。



ひなまつりの里 坂本地区
毎年3万体的おひな様が飾られる「ビッグひな祭り」の時期、「坂本おひな街道」の期間中は、その森本家住宅を実際に見ることが出来ます。

「坂本おひな街道」は、「ビッグひな祭り」の会場から車で西へ15分ほど進んだ坂本地区で開催されます。街道沿いの連なる軒先におひな様が飾られる様は、華やかでありながらもひっそりとして、「おひな様の奥座敷」の表現にぴったりです。

森本家住宅では、自宅にあったものや親戚から集まった150体ほどのなかから、庭園や離れの座敷におひな様が飾り付けられます。現当主の森本友章さんによる飾り付けは源氏物語を参考にすほどのこだわりだとか。

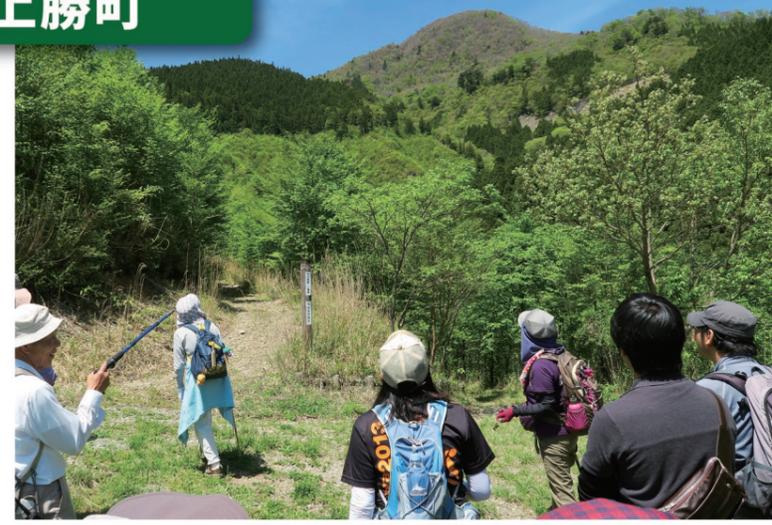


登録有形文化財 森本家住宅

住所：勝浦郡勝浦町坂本生実32
勝浦町教育委員会
勝浦郡勝浦町大字久国字久保田2-1
☎ 0885-42-2515

音楽会や和菓子作りなどにも活用
おひな様飾り以外でも、地域で企画される野外コンサートや和菓子作りの会場として公開されることも。機会があればぜひ訪れてみてください。





徳島県立 高丸山千年の森

「森に親しみ・森を育て・森に学ぶ」 千年の森づくりに向けて

高丸山は勝浦川の上流、那賀町と上勝町の境にある1,438mの山で、1,000m以上の中腹には、ブナを中心とする落葉広葉樹の自然林に覆われています。ここでは、徳島県立高丸山千年の森の事業地として、「森に親しみ・森を育て・森に学ぶ」をテーマに幅広い森づくり活動が行われています。

四季折々、美しい姿を見せる高丸山

昭和52年3月に徳島県自然環境保全地域の第1号の指定を受けた高丸山は、春、4月末のアケボノツツジから「ミツバ」、「ゴヨウ」、「オソツツジ」へとツツジの開花が続きます。5月になるとシヤクナゲや新緑、夏は深く生命力に溢れた緑、秋は山頂から紅・黄・緑と様々な色に彩られ、冬は樹氷で白銀の世界が広がり、一年を通して美しい姿が見られます。



また八重地集落の民有林として古くから信仰される山でもあり、人の手が入っていない自然のままのブナ林を楽しむことが出来ます。森づくり育成ゾーンでは、造林跡地を自然の森に戻すため、高丸山とその周辺で採取した種子から育てた苗木で植林を行い、育成しています。



ふれあい館の活動

「ふれあい館」は、高丸山から10kmほど町の中心に戻ったところにある拠点施設で、室内で森林について学べる施設として資料や写真の展示があるほか、町内外児童の森林学習の場としても利用されています。

千年の森づくりに向けて

高丸山は、徳島市街中心部から中腹にある駐車場まで車で約1時間30分ほど。駐車場やトイレが完備されているので、山登り初心者や女性にもおすすめです。ふれあい館が計画する登山ガイドやジビエ料理体験など、気軽に森づくりに参加できるチャンスに参加してみよう。

徳島県立高丸山千年の森

- ◆施設名：徳島県立高丸山千年の森 千年の森ふれあい館
- ◆住所：勝浦郡上勝町大字旭字中村66番地1
- ◆電話：0885-44-6680



行列のできる 魅惑のマルシェ

北島町水辺交流プラザで開催される「きたじまるしえ」は、不定期開催ながら注目を集め、3回目となる今回、はじまって早々に来場者でごった返すほどの賑わいを見せていました。

今回の出店ブースは20店舗ほど、四国食1グランプリのファイナリスト「なかのファーム」のスイーツや、どこか癒される「ししゃもねこ」の雑貨など北島生まれのブランドはもちろん、同じく四国食1グランプリでファイナリストに選ばれた事業者など、県内外から多彩な出店者が集まりました。



楽しくておいしい。盛りだくさんなマルシェ

来場者のお目当てはグルメと雑貨。中でもスイーツは「なかのファーム」をはじめ、プリン・パン・ゼンざい・ジャム・ケーキ・クレープ・チュロス・パイと続き、思わず「箸休め」にリゾットと唐揚げに手が伸びるほどの充実ぶり。人気のブースは長い行列を作っていました。

雑貨も「ししゃもねこ」のほか、フェルトやプローチなどの小物、キャンドルなど思わず顔がほころぶ可愛らしさ。ステージでは、公開ラジオやご当地歌手・お笑いのほか、北島町ならではのイベント「北島町げけ〜る」が開催され、会場を盛り上げました。

北島町は「人を化かす才能はあるものの、おっちょこちょいですが見破られる、どこか憎めない」源九郎狸伝説の地。ここでは狸に扮した四国大学の学生グループによる源九郎ダンスの披露や、狸の仮装コンテストも行われています。

また会場の川辺では水辺クルージングも行われ、とにかく楽しい、盛りだくさんなマルシェでした。



きたじまるしえ

◆開催場所：北島町水辺交流プラザ (板野郡北島町高房字百居内40番地13)

人のつながりが育てたマルシェ

「きたじまるしえ」は、町の中学生議会で「食のイベント」を開催してみたいと提案を受けたことがはじまり。提案を受けて実行委員会が組織され、イベントを模索するうちに町の枠を超えて人がつながる、従来のない、横のつながりを重視した今の「きたじまるしえ」がはじまったそうです。

また北島町では、「なかのファーム」と「ししゃもねこ社」の2社を町のブランドに認定し、県内外で事業者と町のPRに一体で取り組むなど、お互いの相乗効果を図りながら関係を深めています。





クイズに答えて「ブランドのチカラ」商品をゲット

正解者の中から抽選で9名様に、プレゼントが当たります。

問題：勝浦町で行われるビッグひな祭り。
街道沿いの連なる軒先におひな様が飾られるのは「坂本おひな街道」や「おひな様の〇〇〇」

※ヒントは1ページにあります。

応募方法

官製はがきに、またはメールで、①クイズの答え、②プレゼントの希望の商品名、③郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号、④本誌「結ぶ」に対する感想や要望を、ご記入の上

〒770-8571 徳島市幸町2-5 徳島市企画政策課内「結ぶ」プレゼント係
(メールの場合は、kikaku_seisaku@city.tokushima.lg.jp)へ
平成29年2月28日(火)(必着)までにお送りください。
(お寄せいただいた個人情報は、プレゼントの発送とそれに係る業務のみに利用します)

【当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます】



編集雑記 Vol.10

ペンネーム「Bamboo lab」(小松島市)

小松島市に移住してまもなく1年半になる。市内にはスーパーが多く、生活するのに何一つ不自由を感じることはない。

現在の活動は、竹を使ったランプシェード制作や、イベント・祭りの際に竹灯籠を展示している。この活動を始めるきっかけとなったのは、小松島市に来て初めてお会いした農家さんが竹林の整備に苦労するというお話を伺い、整備だけではなくその竹を使った「何か」を作れないかを考えた結果、現在の活動に繋がった。

今後は、現在の活動に引き続きイベント・祭りへ出展をしつつ、任期終了後の自分の食いつ持を確保するために会社設立に向けての準備をしていきたい。

ペンネーム「事務局です。」(徳島市)

徳島東部地域定住自立圏における取組も6年目となりました。

このたび、定住自立圏における取組をより効果的に進めていくために、取組ごとに数値目標を定め、取組の成果を検証し、次の取組に反映させることが国から求められています。

この「結ぶ」については、数値目標を定めることが求められるものではありませんが、より多くの方に徳島東部地域定住自立圏の取組や構成市町村の情報を知っていただけるように、皆さんから頂戴するご意見も参考にしながら、今後とも誌面の充実をめざしていきたいと思ひます。

表紙の写真



きたじまるしえ

おいしさと楽しさ、可愛らしさがギュッと詰まった「きたじまるしえ」。朝から大変な賑わいでしたが絶対に行く価値アリです。次回はどんな風にパワーアップするか、楽しみです。



身近な道具を使った模様の付け方がすらすら



▲外観

技の館 [上板町]

「すくも」づくりの本場で手軽な藍染体験

上板町は藍染めの染料「すくも」の製造・出荷日本一の地として知られ、ここ「技の館」では、伝統の藍染めが手軽に体験できます。

手先の器用さには今一つ自信が…、そんな私が選んだのは結び染め。柄にした部分に結ぶだけというお手軽さ。ほかにも洗濯バサミや茶こしなど、身近な道具を使ったメニューから仕上がりイメージを選んで選べます。今回は、毛筆を使い溶かした口で描くことで



▲口で染める練習中



▲完成! (写真左が藍染体験指導の日比生 伸子さん)

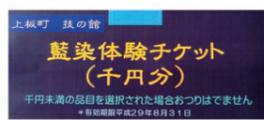
好きな文字や絵柄が表現できる口で染めにも挑戦。指導員さんに手順の説明を受けての体験。藍染めの染まる仕組みを教してもらいながら「結ぶ」づくりの藍染めが1時間ほどで完成。体感ではあつという間でした。多くの方がリピーターになるのも納得で、家族で楽しめることうけあいです。

体験メニューや料金の詳細は、上板町観光物産協会のホームページをチェックしてくださいね。

(URL:<http://www.townkamiita.jp/kanko-bussan/>)



▲浸けては取り出す、を5回ほど繰り返す



▲プレゼント

技の館
【定休日】月曜日(祝日の場合翌日)年末年始
【営業時間】9:00~17:00
(藍染体験受付は15:30まで)
●板野郡上板町泉谷字原東32番地4
●088-637-6555

PRESENT
藍染体験チケット
(1,000円分)×3名様
(有効期限:平成29年8月31日)



▲手入れの行き届いた日本庭園が見渡せる
▲PH8.9のアルカリ性分により美肌効果もばっちり



▲外観

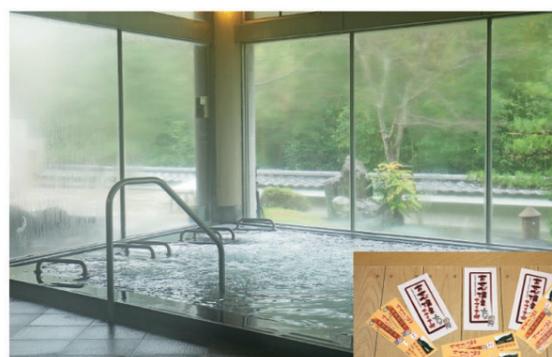
あせび温泉 やすらぎの郷 [板野町]

緑豊かな山あいにある天然温泉

「あせび温泉 やすらぎの郷」は、大坂峠に向かう途中、緑豊かな山あいの景観に溶け込んだ天然温泉です。大浴場・やすらぎの湯や露天風呂からは、日本庭園や背景の山の紅葉、竹林などが眺められ、季節の移ろいが感じられます。

温泉の効能は、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、慢性消化器病、痔疾、冷え症、疲労回復など多数あげられ、硫黄成分を

含むため糖尿病、切り傷、慢性婦人病、痛風、便秘などにも効果があるとか。さらに県下でも有数というPH8.9のアルカリ性分により、肌の艶出作用、皮膚の洗浄作用があり、入浴後お肌がつるつる、なめらかになる美肌効果があるのも女性には見逃せないところ。源泉薬槽・あせびの湯、四季の湯・露天の湯、打瀬の湯、うちみ、慢性消化器病、痔疾、冷え症、疲労回復など多数あげられ、硫黄成分を



▲ジェットバスや気泡風呂が楽しめる大浴場・やすらぎの湯



▲プレゼント

あせび温泉 やすらぎの郷
【休館日】毎週水曜日(国民の休日の場合翌日)年末年始(12月29日~1月3日)
【開館時間】10:00~21:30
※入浴受付は21:00までとなります
●板野郡板野町大坂字椋木原30-1
●088-672-1126

PRESENT
無料招待券(ペア)×3名様

ブランドのチカラ

Power of BRAND



▲あいずみスマイリーマルシェに出店、ハーブティーのほかに石鹸なども

Herb & Aroma FUL*FUL [藍住町]

阿波藍にこだわったハーブティー

自然の恵みから生まれた藍と紅色の美しさを重ねた瑠璃色は、古来より二藍と呼ばれています。今回、徳島の藍にこだわった二藍のハーブティーをご提供いただくのは、ナード・アロマテラピー協会認定校、ハーブ&アロマスクールを主宰する増原 美幸さま。

縹色茶(はなだいろ)は、藍染めの青色が特徴で、藍葉にローズマリー、ジュニパー、フェネルなど体の古い毒素や老廃物を抽出する成分を持つハーブをブレンドしたデトックスティー。

紅色茶は鮮やかな赤色に染まる紅花に抗酸化作用を持つイボスなどをブレンド。女性を内面から美しくしてくれます。そして藍葉+紅花にウスペニアオイやカモミールをブレンドした瑠璃色茶は、ストレスケアにお勧めのヒーリング効果があるそう。

こちらのハーブティー、徳島市沖浜町にある木のおもちゃ DEPOT さんでも販売しているので、気になった人はチェックしてみてください。



▲ハーブ&アロマ教室も開催



▲女性に人気



▲プレゼント

Herb & Aroma FUL*FUL
●板野郡藍住町住吉字若宮12-4
●090-8693-8437

PRESENT
ハーブティー
('縹色茶'・'紅色茶'・'瑠璃色茶'からお一つ)
何が当たるかはお楽しみ!
×3名様